

教員名	井上 真由美	所属学科	経営学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>「社会の中における企業・企業家の望ましいあり方とは」「企業が長期的に存続、発展するためには何が必要なのか」といったテーマについて考えるために、2年次から3年次にかけてこれらに関連する文献の輪読、長寿企業・経営者に関する調査（ヒアリング調査を含む）を行います。4年次には上記のテーマに関連し、個々人が特に関心のある課題を設定、卒業論文を執筆し、企業人になってからも役に立つ考え方を身につけます。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>◇文献の輪読</p> <p>関連文献を演習が始まる前までに読み、その後、議論・討論を行います。そうすることによって、文献で扱われている現象についての自分の認識が相対化され、さらに理解が深められることとなります。世の中はまがいものが少なくないのですが、その中から本物を見つけ出すためのよい訓練となります。</p> <p>◇個別企業・経営者の調査研究</p> <p>輪読した文献に関連するテーマを設定し、グループに分かれて個別企業・経営者の調査を行います。過去には、前川正雄氏が提示した経営論を参照しつつ、長寿企業の存続理由を探るといったことをやりました。これまでに調査をさせていただいた企業は、DOWA ホールディングス、呉竹、セラリカ NODA、田中貴金属、養命酒製造、ヒゲタ醤油、岡直三郎商店、大日本除虫菊などです。このような実地の調査は、共同作業であり、かつ推理的な要素もありますので、おそらくそれ自体が楽しいものだと思います。しかし何と云っても、現実に活動している組織およびそこで働く人々から教えられることは多いはずで</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>○輪読・ディスカッション、プレゼンの機会を多く経験することで、事実・現象について正確に理解し、自分の意見を持ち、発信する力をつけることができる。</p> <p>○企業・業界について調査・研究するための手法を身につけ、企業に入ってから応用できる。</p> <p>○社会の中における企業、経営者とはどうあるべきかについて自分の意見が持てる。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>藤井聡（2012）『プラグマティズムの作法—閉塞感を打ち破る思考の習慣—』 技術評論社</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>このゼミでは「よい雰囲気の中でよい議論ができる」ことを何より大事にしております。上記のテーマについて、面白い議論をしてみたいという方と共に学ぶことができれば幸いです。</p>			